

Q1 FY2023 Financial Results

2023年8月期第1四半期 決算説明資料

The logo for Valuence, featuring a vertical bar on the left that is red at the top and grey at the bottom.

Valuence

バリュエンスホールディングス株式会社
〔東証グロース市場：9270〕

2023. 1. 13

Index

目次

Valuence

業績

第1四半期ハイライト

第2四半期以降の取組

サステナビリティ

Appendix

業績

前年同期を上回る 実績を確保

- 小売施策のための在庫プールにより売上高・営業利益がQoQでは減少も、YoYでは大きく伸長
- 売上総利益率は前年同期並みにまで回復
- コロナ再拡大も影響は受けず

GMV (流通取引総額)

192億円

〔 前年同期比
+43.1% 〕

売上高

172億円

〔 前年同期比
+30.2% 〕

売上総利益率

26.7%

〔 前年同期比
▲0.2pts 〕

営業利益

2.8億円

〔 前年同期比
+44.0% 〕

2023年8月期 第1四半期 (9月-11月) トピックス



買取

- コロナ再拡大の影響は受けず、仕入高は堅調に推移
- 国内出店を再加速、店舗数は国内**134店舗**、海外**36店舗**に
- 三越伊勢丹との取組「i'm green (アイムグリーン)」が好調



販売

- インバウンド回復への期待から、オークションにおける国内販売比率が上昇
- 手数料率変更等が奏功し、引き続きオークションにおける委託が増加
- 2Qのクリスマス商戦に向け、商品を戦略的に小売在庫としてプール

2023年8月期 第1四半期 業績

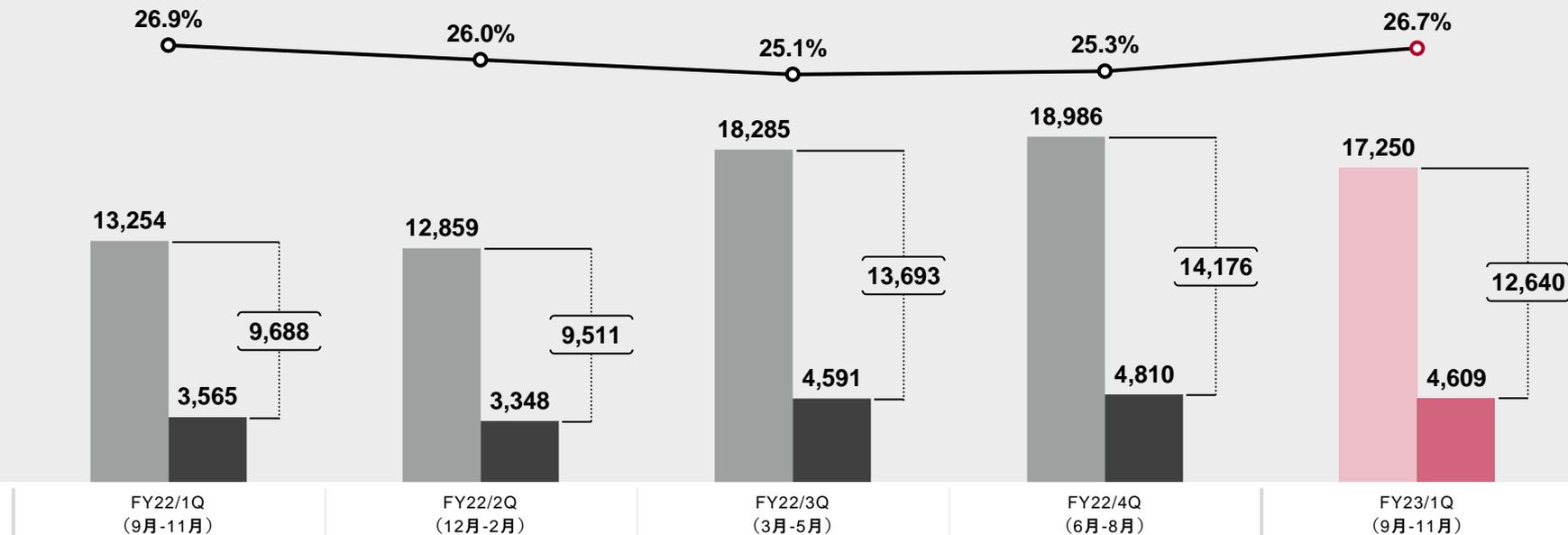
■ 売上高、各段階利益において、前年同期に対して2ケタ成長

単位：百万円	FY22/1Q	FY23/1Q	増減率	FY23通期計画	達成率
売上高	13,254	17,250	+30.2%	78,500	22.0%
売上総利益	3,565	4,609	+29.3%	21,400	21.5%
売上総利益率	26.9%	26.7%	▲0.2pts	27.3%	-
販売費及び一般管理費	3,368	4,325	+28.4%	18,900	22.9%
営業利益	197	283	+44.0%	2,500	11.4%
経常利益	169	259	+52.8%	2,350	11.0%
経常利益率	1.3%	1.5%	+0.2pts	3.0%	-
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	45	133	+193.9%	1,300	10.3%

売上高・売上総利益率

- 小売店舗オープン、toCオークションに向け在庫をプールしたことにより、売上高はQoQで減少
- 自社オークションの売上総利益率が好調に推移し、全体の改善に寄与

単位：百万円 ■ 売上高 ■ 売上総利益 ○ 売上総利益率 □ 売上原価

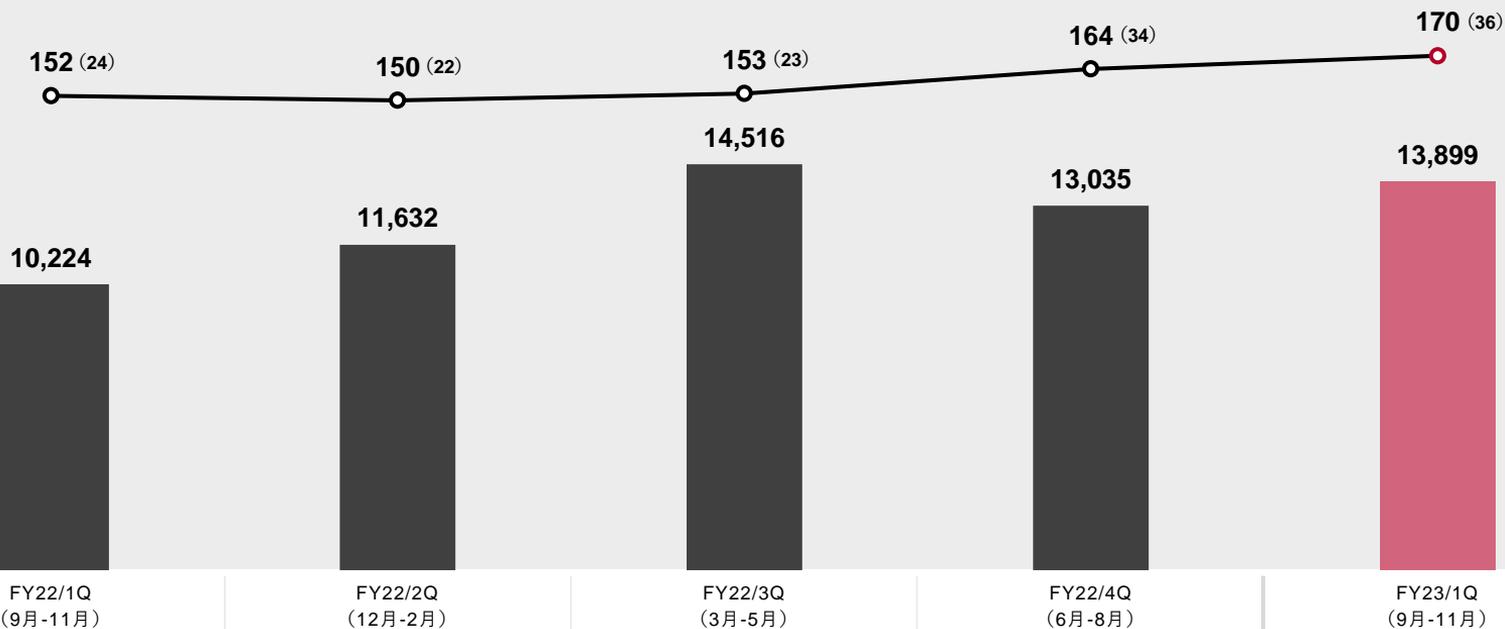


仕入高・店舗数

- コロナ再拡大も、仕入高は堅調に推移
- FY22に一時的に緩めていた国内の出店スピードを再加速

単位：百万円

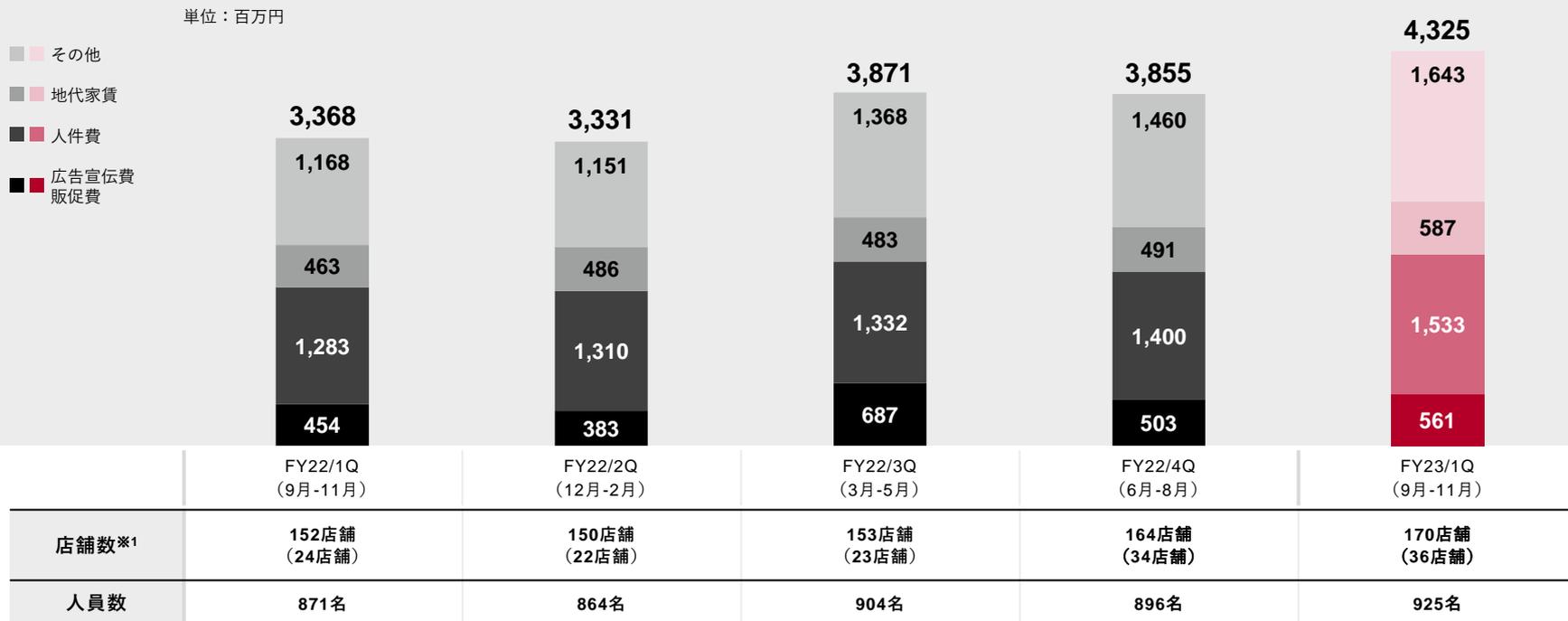
■ 仕入高 ○-○ 店舗数



※ 店舗数には海外店舗も含む。 () はそのうちの海外店舗数。

販管費推移

- 人員拡充、オフィス移転の一時費用の発生などにより、販管費が増加



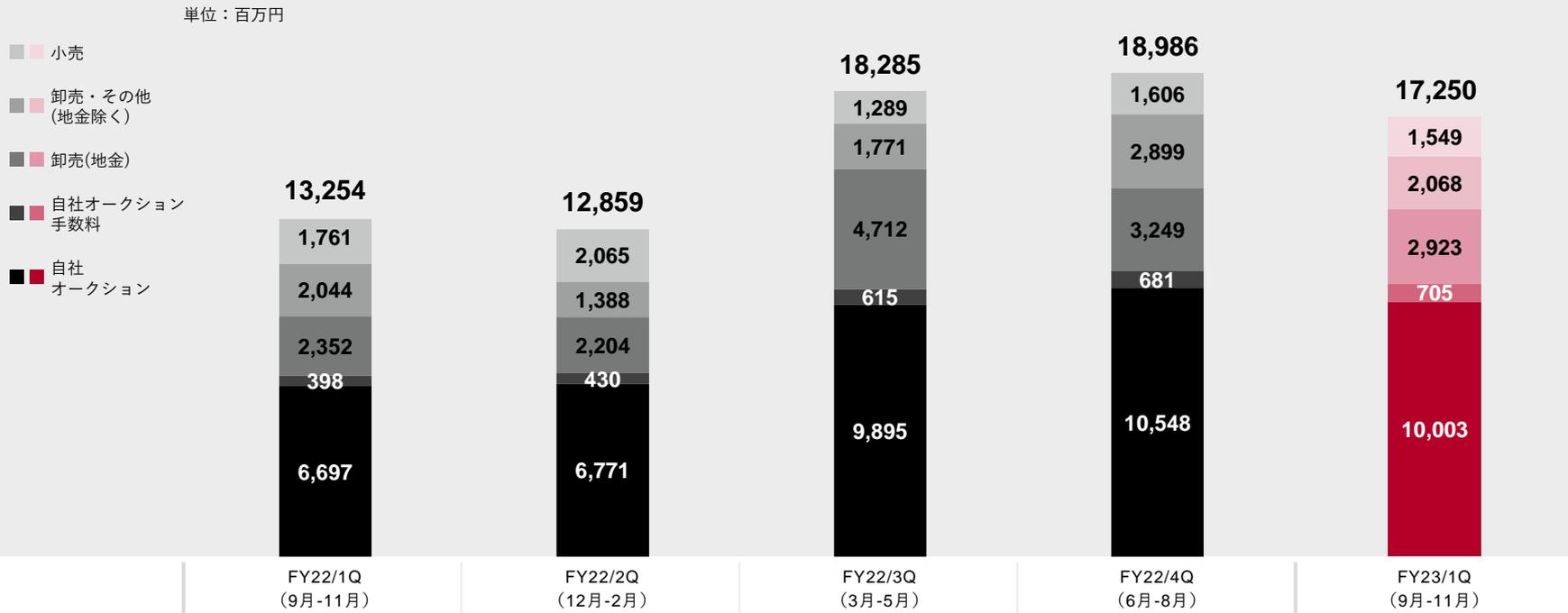
※ 店舗数には海外店舗も含む。 () はそのうちの海外店舗数。

バランスシートの概況

単位：百万円	FY22	FY23/1Q	増 減	
流動資産	16,804	18,266	+1,462	商品の調達や設備投資などにより手元現金が減少
現金及び預金	7,807	7,635	▲172	
商品	6,329	7,651	+1,322	仕入拡大に加え、2Qを見据えた戦略的小売在庫確保により商品が増加
その他	2,667	2,980	+313	
固定資産	6,445	6,722	+276	買取店舗・販売店舗の新規出店等に伴う有形固定資産の取得や、システム開発に伴う無形固定資産の増加による
総資産	23,249	24,989	+1,739	
負債	15,395	17,295	+1,900	
有利子負債	12,515	14,229	+1,713	仕入資金や設備投資など事業拡大に向けた資金確保のため長期借入金が増加
その他	2,880	3,066	+186	
純資産	7,853	7,693	▲160	親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があった一方、配当金の支払いがあったことなどによる
負債・純資産合計	23,249	24,989	+1,739	

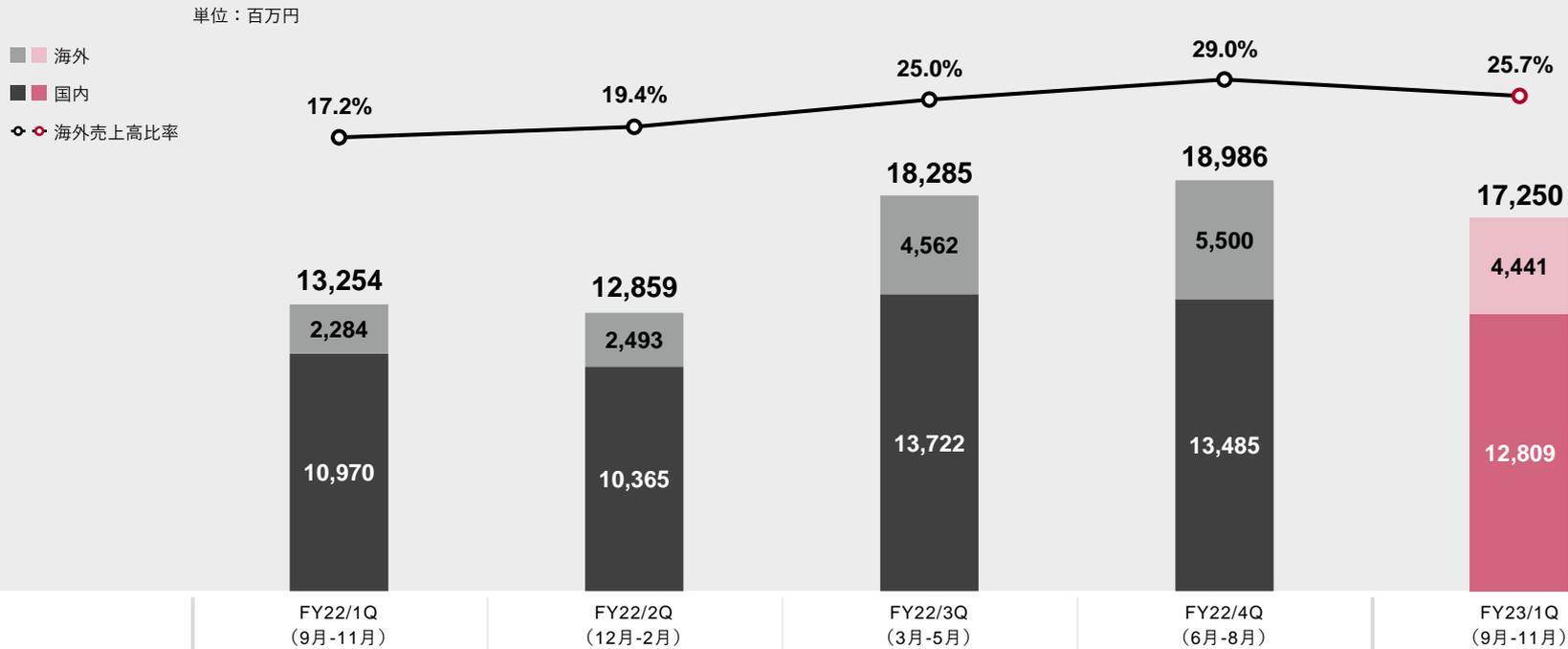
[売上高] 販路別 (toB, toC)

- 自社オークション売上は減少したものの、委託拡大により自社オークション手数料は増加



[売上高] 販路別（国内、海外）

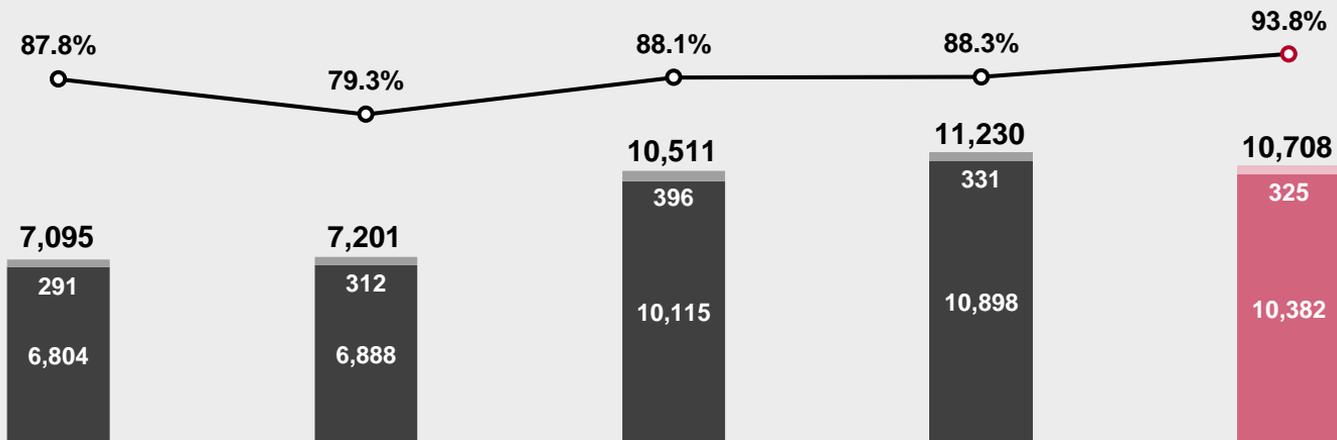
- 自社オークションがけん引し国内売上高比率が上昇。海外売上高比率としても依然高水準。



[売上高] オークション実績

単位：百万円

■ SBA香港
■ SBA・8AUC
○ 落札率



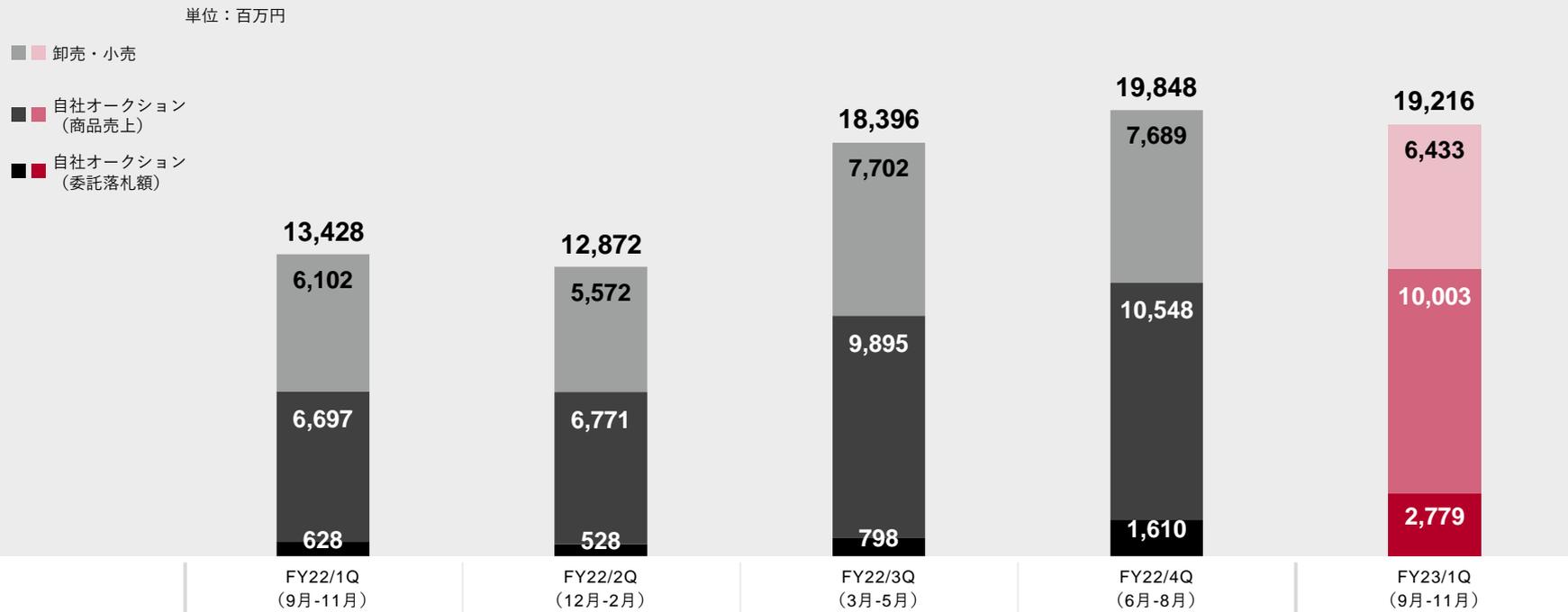
		FY22/1Q (9月-11月)	FY22/2Q (12月-2月)	FY22/3Q (3月-5月)	FY22/4Q (6月-8月)	FY23/1Q (9月-11月)
国内	SBA※1	月2回 11月から毎日	毎日	月4回	月4回	月4回
	8AUC※2	10月、11月	月1回	月1回	月1回	月1回
海外	SBA香港	11月	2月	5月	8月	11月

※1 SBA...STAR BUYERS AUCTION (次ページ以降同じ)

※2 8AUC...THE EIGHT AUCTION (次ページ以降同じ)

[GMV] GMV推移

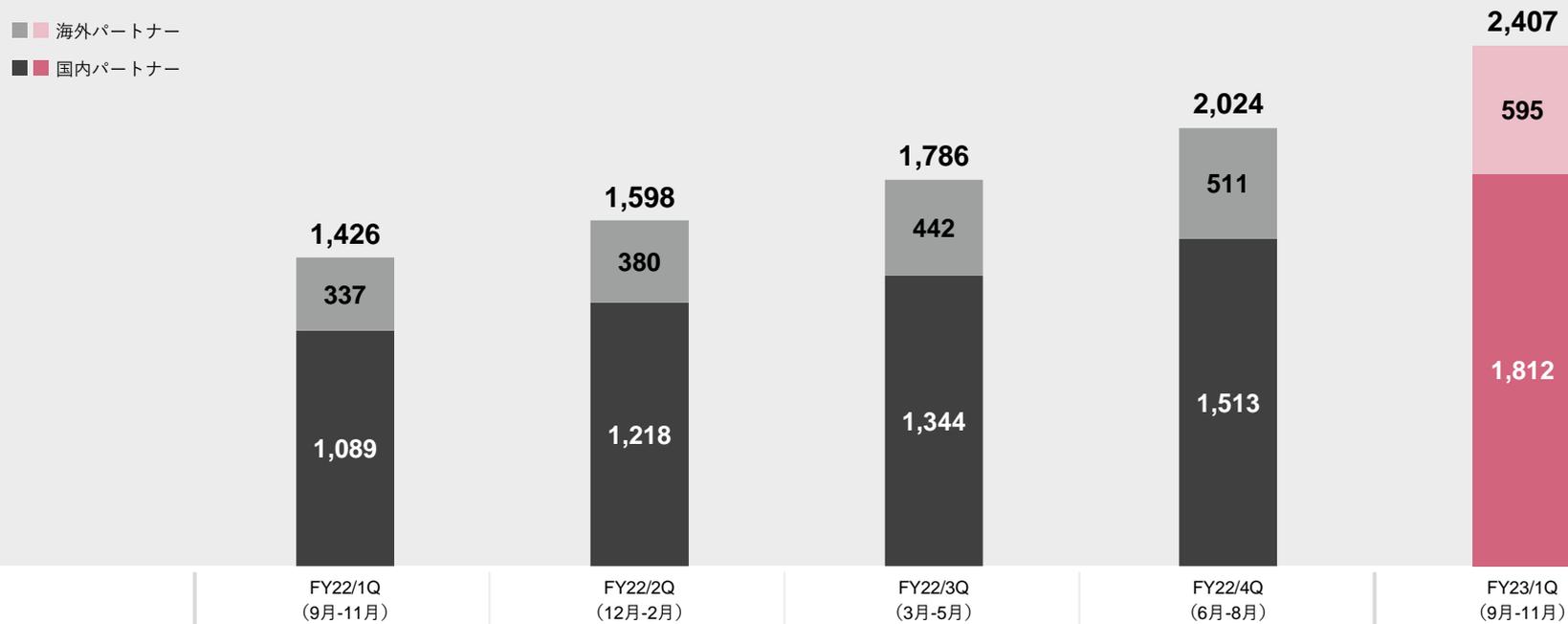
- 委託手数料無料化の継続、ブランド認知の拡大により、委託が伸長



第1四半期ハイライト

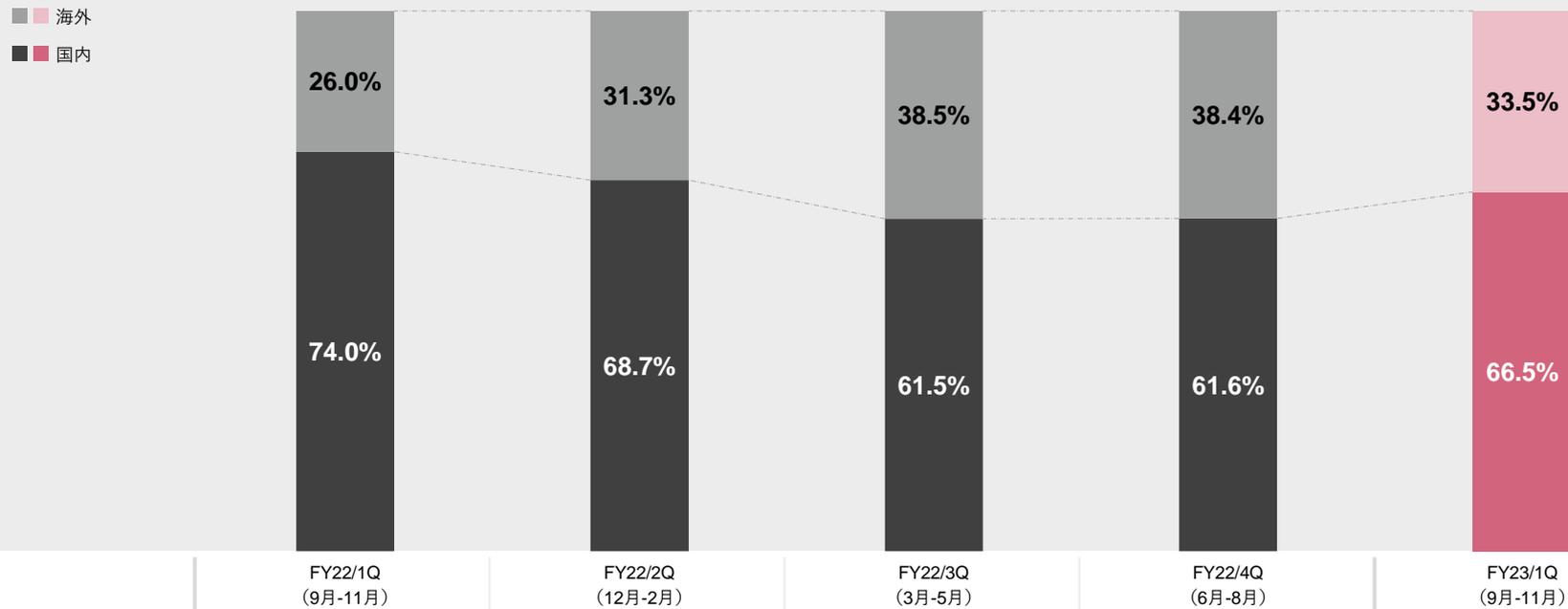
SBAパートナー会員数

- 国内、海外ともに引き続き拡大



SBA落札額の国内／海外比率

- インバウンド回復を見越した国内パートナーの積極的な落札により、国内比率が上昇



買取店舗展開

- 引き続き国内外で積極的に店舗展開を推進

世界**18**カ国 **170**店舗

ヨーロッパ
2店舗

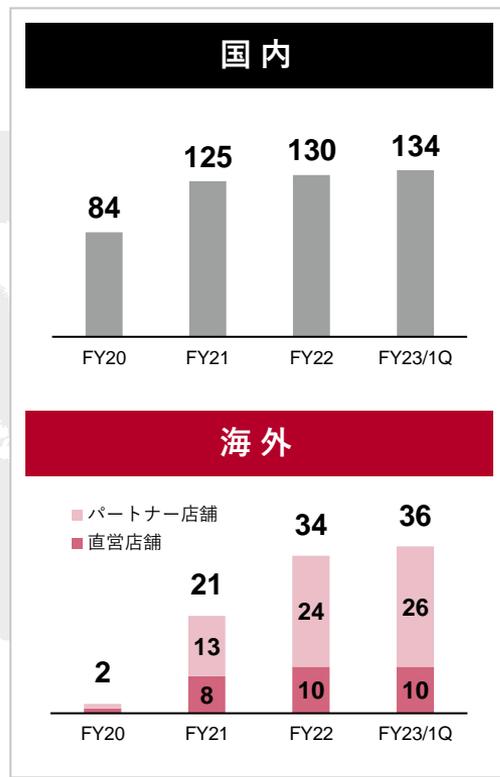
中東
4店舗

アフリカ
3店舗

アジア
25店舗

日本
134店舗

北米
2店舗



国内出店を再加速

- FY22に一時的に緩めていた出店スピードを再加速
- 年間10~15店舗の新規出店計画に対し、1Qに4店舗の新規出店と1店舗の移転1店舗を実施

新規出店



9月

なら
ファミリー店



9月

二子玉川
ライズ店



10月

徳島駅
クレメント
プラザ店



10月

アトレ
川越店

移転



10月

札幌
アピア店

第2四半期以降の取組

ALLU心齋橋店オープン

- 銀座店、アメリカ村店、表参道に続き、4店舗目となる心齋橋店を2022年12月にオープン
- インバウンド回復に伴う販売拡大にも期待



ALLU AUCTIONの開催

- toCオークション「ALLU AUCTION」を2023年1月28日に初回開催予定。以降は四半期に1回の開催を予定
- 高級時計のジャンルにてスタート、将来的にジャンル拡充を検討

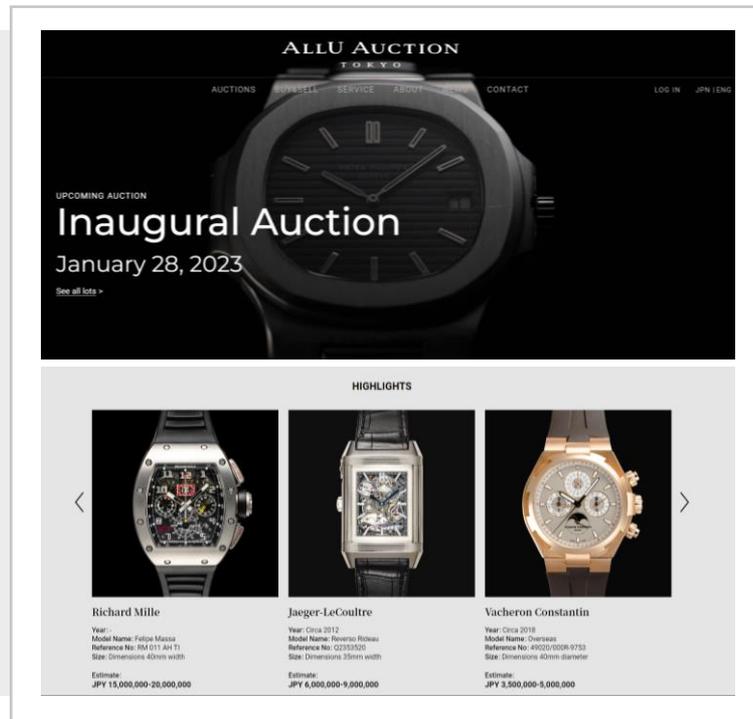
初回はバリュエンスが運営するアートラウンジ
「VALON BY VALUENCE」にて開催

リアルに加えて
オンライン、書面、電話での入札も可能

詳細・会員登録はこちら

公式サイト | <https://www.allu-auction.com/>

※ ご参加いただく場合、事前の会員登録及び参加申込が必要となります。
詳細は公式サイトをご確認ください。



M&Aの実施：「米自動車」の子会社化

- 新車・中古車の販売・買取、車検・点検、整備等を行う「米自動車」の完全子会社化に向け契約締結



株式取得及び株式交換により 完全子会社化

- 2023年2月28日にM&A完了予定
- FY23/2Q末にBS連結、3QにPL連結を予定

取得会社の概要

会社名	株式会社米自動車
代表者	代表取締役 米 武士 略歴： 1999年に三菱ふそうトラック・バス株式会社に入社。エンジンの製造、整備等に従事。技術者としてのスキルを活かし、2012年に高級輸入車を中心とした整備事業を創業。2013年の会社設立以降、販売事業の開始など事業を拡大。 現在は整備・販売等の顧客対応に加え、従業員の技術指導・育成にも尽力。
設立	2013年5月
事業内容	・国内外の新車・中古車の販売・買取 ・車検・点検・自動車分解整備・板金塗装等
営業所	・本社・麻布ショールーム ・多摩ショールーム・認証整備工場 ・池袋認証整備工場

M&Aの実施：「米自動車」の特徴

- 高い技術力を誇り、高級輸入車の修理・整備に強みを持つ
- 独自のtoC販売網を保有

点検修理・車検

- 自社工場を保有、熟練の整備士が在籍し、正規ディーラーに近い整備サービスを提供
- 特に、アストンマーティン、フェラーリ、ランボルギーニなど高級輸入車に強み



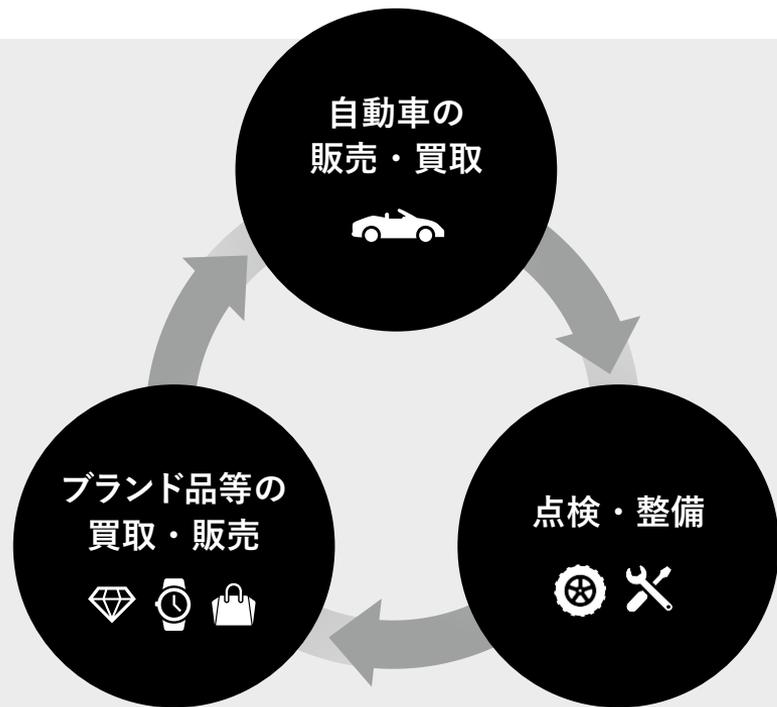
販売

- 購入前相談から、メンテナンス、売却時の乗換までトータルサポート
- 紹介もしくはリピーターが来店のおよそ7割を占める



M&Aの実施：目的

- 既存事業とのシナジー効果により、顧客のLTVを向上



既存事業とのシナジー効果

自動車の買取・販売・整備をフックに、ブランド品の買取・販売等の既存サービスに送客

自動車事業の強化

米自動車の持つ販売網の活用による販売力強化に加え、買取面での競争力も強化

リカーリング型ビジネスへの寄与

点検・整備により顧客とのつながりを維持

循環型社会への貢献

整備しながら長く大切に乘っていただき、さらに、次に必要な人へつなぐ

本社オフィスを表参道へと移転

- 多くのラグジュアリーブランドが旗艦店を出店する流行の発信地「表参道」へと2月に移転予定
- より洗練されたブランドイメージの醸成を企図

執務エリア



カフェスペース



※ 画像はイメージ

住所：東京都港区南青山5丁目6 - 19

サステナビリティ

FY22のResale Impactを算出、公開

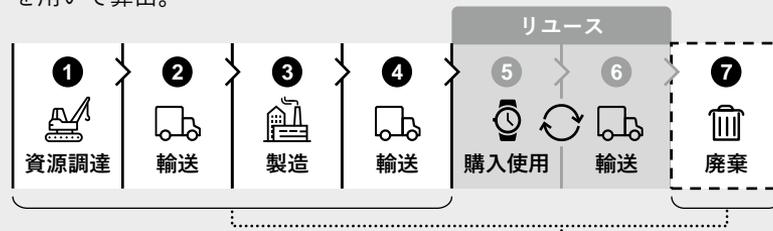
- 二酸化炭素排出量、水使用量、エネルギー使用量、PM2.5排出量の削減貢献量を算出

 二酸化炭素排出削減貢献量	5,849,251t
 水使用削減貢献量	297,032,752m³
 エネルギー使用削減貢献量	24,084,648GJ
 PM2.5排出削減貢献量	2,489,485t

環境負荷削減貢献量“Resale Impact”とは？

商品をリユースすることによる、二酸化炭素や水などの環境負荷の削減貢献量。

バリュエンスが独自に開発した「Valuence Resale Impact Calculator」を用いて算出。



①～④、⑦での環境負荷

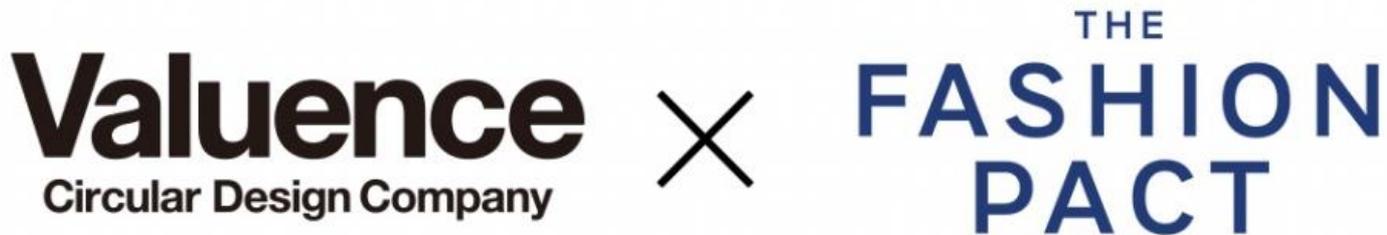
リユースすることで、
資源調達～輸送、廃棄における
環境負荷削減に貢献

リユースによる削減貢献量
“Resale Impact”

※ リユースの普及により新たに製品が生産されないと仮定

The Fashion Pact（ファッション協定）に加盟

- The Fashion Pactへの加盟により、国内外におけるサーキュラーエコノミー拡大に向けて活動を強化



The Fashion Pact とは

ファッション・テキスタイル業界の企業が参画する環境負荷低減に向けた国際イニシアチブ。2019年8月、南フランス・ピアリッツで開催された主要7カ国首脳会議(G7サミット)において、気候変動、生物多様性、海洋保護の3分野で共通の具体的な目標に向かって取り組むことを誓約したもの。現在、70社200ブランド以上が加盟している。

**バリュエンスの加盟は
国内リユース企業として初！
日本企業としても2社目！**

Appendix

会社概要

会社名	バリュエンスホールディングス株式会社
代表者	寄本 晋輔
本店所在地	東京都港区港南一丁目
設立	2011年12月
資本金	1,146百万円（2022年11月末）
従業員数	925名（2022年11月末）※連結、正社員のみ
セグメント	ブランド品、骨董・美術品等リユース事業
関係会社	連結子会社9社 持分法適用関連会社1社 （2022年11月現在）

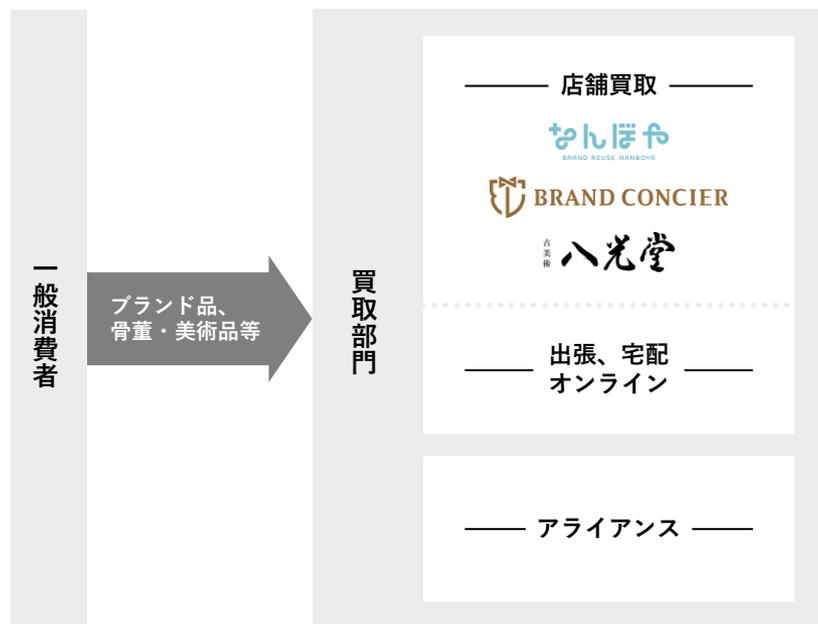
グループ事業ブランド

買取	オークション
 BRAND REUSE MINBOVO	
	
	
不動産	小売
	
hambro不動産	アプリ
	

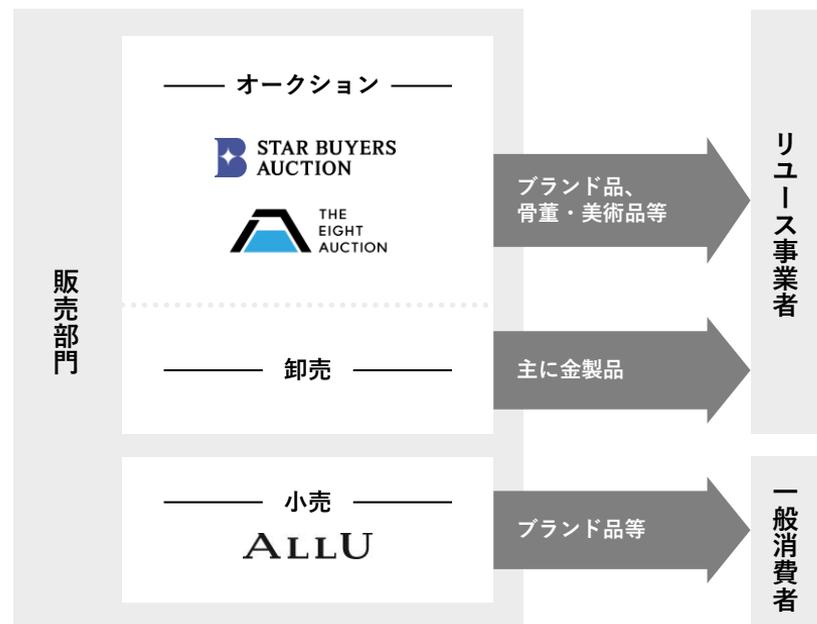
事業・サービス

- オークションをはじめとした自社仕入商品による商品売上を中心に、売上・利益を形成

仕入サイド



販売サイド



事業紹介／サービス紹介

買取

モノの価値をつなぎ、人生への新たな投資を。

なんぼや／BRAND CONCIER

- ブランド品等の買取専門店
- 「なんぼや」は国内外に100店舗以上を、「BRAND CONCIER」は国内百貨店を中心に展開
- 出張買取、宅配買取、オンライン買取にも対応

なんぼや BRAND REUSE
NANBOYA



BRAND CONCIER



古美術八光堂

- 骨董・美術品等の買取専門店
- 骨董専門の鑑定士が出張買取を中心に
対応
- 遺品整理、生前整理等にも対応

八光堂



事業紹介／サービス紹介

オークション

業界のハブとなる、世界一のオークションを目指して。

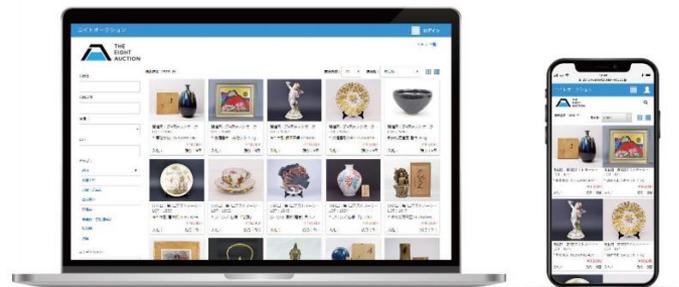
STAR BUYERS AUCTION

- ブランド品等のto B向けオークション
- 2020年3月にオンライン化し、世界各国からのパートナーが参加
- ダイヤモンドに特化したオークションをオンラインにて開催



THE EIGHT AUCTION

- 骨董・美術品のto B向けオークション
- 骨董・美術業界ではリアルが主流のなか、2020年7月にオンライン化



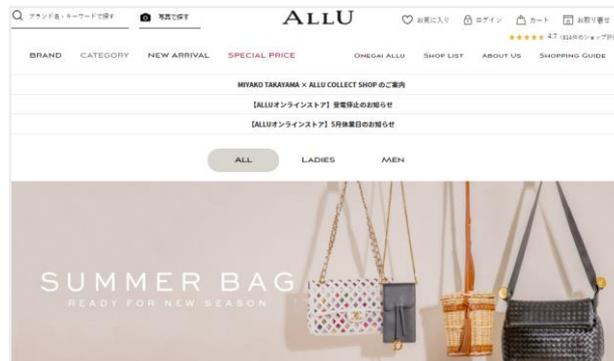
事業紹介／サービス紹介

小売

お客様の新しい出会いをつくる、B to C販売事業。

ALLU

- 銀座店、アメリカ村店、表参道に続き、4店舗目となる心斎橋店を2022年12月にオープン
- 自社ECサイト、連携するECショッピングモールで国内外に広く販売
- ALLU店頭への取寄やライブ販売など、リアルとネットのシームレスなサービスが好調



FY21～FY23 年度別連結業績推移

	FY21					FY22					FY23				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高 (百万円)	11,823	11,920	13,668	15,100	52,512	13,254	12,859	18,285	18,986	63,385	17,250	-	-	-	17,250
売上総利益 (百万円)	3,110	2,830	3,756	4,144	13,841	3,565	3,348	4,591	4,810	16,316	4,609	-	-	-	4,609
販売費及び 一般管理費 (百万円)	2,646	3,227	3,367	3,430	12,672	3,368	3,331	3,871	3,855	14,427	4,325	-	-	-	4,325
営業利益 (百万円)	464	▲397	389	713	1,169	197	16	720	954	1,888	283	-	-	-	283
経常利益 (百万円)	450	▲414	221	718	976	169	13	696	911	1,791	259	-	-	-	259
当期純利益 (百万円)	217	▲341	583	265	725	45	▲93	415	601	969	133	-	-	-	133
従業員数	742	804	880	873	873	871	864	904	896	896	925	-	-	-	925
国内 買取店舗数	87	119	126	125	125	128	128	130	130	130	134	-	-	-	134
海外 買取店舗数	3	9	14	21	21	24	22	23	34	34	36	-	-	-	36

- 本資料における売上高の販路別内訳、オークション実績の内訳、GMV推移については参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。
- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績や実施策は、世界情勢の動きなどさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、変更が生じる可能性があります。
- 当資料は「2023年8月期第1四半期 決算短信」に準拠し作成しています。

【IRに関するお問い合わせ先】

バリュエンスホールディングス株式会社 IR課

TEL : 03-4580-9983 / Mail : contactus@valuence.inc

The logo for Valuence, featuring the word "Valuence" in a bold, white, sans-serif font against a black background.